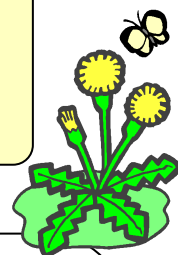


## 第3回 助教ガクモン講座

# 身近な人の死に臨む —他者の死を「乗り越える」とは何か—



私たちに、いつかはわかりませんが、必ず身近な人の死に向き合わなければならないときがやってきます。そのとき、遺された私たちはどのように死と向き合い、どのように死を理解すればよいのでしょうか。死は私たちに何をもたらすのでしょうか。

先日、本学の助教が家族を亡くしました。このことをきっかけに、各助教がそれぞれの専門知識を持ちよって、身近な人の死に向き合うとはどういうことなのか、議論してきました。今回のガクモン講座では、みなさんと一緒に、「他者の死を乗り越える」ということを考えたいと思います。

生きるとは何か？ 死ぬとは何か？ という問いは深遠で難しいと感じられるかもしれません。今回のガクモン講座では、4人の助教が、まず宗教者や文学者が身近な人の死に向き合った事例をわかりやすく紹介します。これらの具体例を出発点に、「他者の死を乗り越える」ことの意味を、ガクモンの探求していきます。参加者からの質問も受け付けますので、ぜひ一緒に考えましょう。今回のガクモン講座で、みなさんの個人的な経験や考えを卒業論文などの研究に結びつける方法を学び取っていただければ幸いです。

- 【日時】 2013年7月9日（火） 16:20～18:20
- 【場所】 大谷大学 響流館3F メディアホール
- 【参加対象】 本学学生・大学院生
- 【参加費】 無料
- 【定員】 100名（先着順）
- 【主催】 総合研究室 助教連絡協議会



**参加申込み** : 当日参加可能ですが、資料の準備の関係上、また当日の変更の連絡のために、可能な限り事前申し込みをお願いいたします。

**申込み先** : 助教連絡協議会

E-mail [workshop@res.otani.ac.jp](mailto:workshop@res.otani.ac.jp)

## パネリスト

### 黒澤 祐介

社会学科助教／持続可能な福祉コミュニティの研究  
保育者の悩みの研究

演題 「母の死と出会って  
—医療・福祉の限界と課題—」



### 佐々木 秀英

真宗学科助教／近代教学の方法論による  
親鸞の思想研究

演題 「生死を超える道  
—高光大船の死生観を通して—」



### 河崎 豊

仏教学科助教／インド古典学 ジャイナ教研究

演題 「<死は無い>から<神の戯れ>まで  
—Mahābhārata における死生観の一断面—」



### 足立 和彦

国際文化学科助教／フランス文学  
19世紀自然主義、特にモーパッサン

演題 「過去を語りなおす  
—フランス・ロマン主義文学を例に—」



## コーディネーター

### 古荘 匡義

哲学科助教／現代フランス哲学  
特にミシェル・アンリの現象学

